

優良現場一覧（2017年以降の受賞現場）

表彰区分	受賞年月日	現場会社名	発注者及び工事名	実績の主な内容
委員長	2017.07.19	五洋・本間・土志田JV	横浜市道路局 高速横浜環状北西線東方換気所 建設工事	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂運搬のダンプカーにGPS内蔵スマートフォンを搭載し、速度超過や危険箇所を通過する際には電子音で運転者に注意喚起を行っている。 ・最適な土砂運搬ルートを決出し、ルート上の幼稚園、学校、病院、商店街、公園など子供や人の交通量の多い箇所を電子ハザードマップに登録した上で、「交通KY(危険予知)マップ」を作成し、安全運転と交通事故防止活動に役立てている。 ・ダンプからの土砂等の落下、飛散防止対策として、シート掛けエリアを設けて、運転者が荷台に上がる昇降設備や安全帯を掛ける設備を設けている。 ・場内全体が整理整頓されており、特にダンプカーの通行箇所には全面履工板や鉄板を設置し、一般道路にも配慮した車両の汚れ防止の措置が講じられている。
委員長	2018.12.10	大林・鴻池JV	中日本高速道路(株)東京支社新東名高速 道路高取山トンネル東工事	<ul style="list-style-type: none"> ・工事現場から合流する直近の公道は、幅員が狭く交通量も多い中、1日のダンプカーの延べ運行台数は250～300台に及ぶことから、直近の公道上部に棧橋を設置してダンプカーを迂回させ、公道の混雑緩和と安全走行を確保している。 ・毎日1回、安全運転管理者が独自の点検表に従い追跡調査を実施し、交通危険箇所の把握に努め、その結果を運搬ルートやハザードマップ作成に反映させている。 ・朝礼や毎月1回、4時間以上の安全教育を実施しながら、交通ルール・マナー運転を繰り返し指導し、その結果、交差点での一時停止時に左右確認の指差呼称を励行するなど、近隣住民から「運行状況が良い」等と発注者を通じてお褒めの言葉をいただいている。
委員長	2019.02.14	銭高組	東京都 夢の島公園東地区護岸改修工事 (その3)	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのダンプカーにGPS内蔵のスマートフォンを搭載し、運行車両の速度や位置情報を一元的に管理し、安全教育等に活用している。 ・荷台に積載量がデジタル表示される装備を搭載した21t積の新型トレーラーダンプを導入し、荷重の正味量が正確に計測され、そのデータは会社で管理している。 ・毎日1回、安全運転管理者が独自の点検表に従って追跡調査を実施し、随時、交通危険箇所の把握に努め、その結果を運搬ルートやハザードマップ作成に反映させている。 ・交通ルール・マナーを遵守している優良ドライバーについては、給料等で処遇している。
委員長	2019.12.05	飛鳥建設	東京都下水道局 吾端ポンプ所施設再構築その4工事	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのダンプカーにGPS位置情報管理システムを搭載し、運行状況の確認、渋滞情報の共有や狭い場内でダンプカーが輻輳しないよう安全管理に努めている。 ・運行日誌に貼付のタコグラフを確認し、速度超過の運転者に対して運行管理者が安全指導を行い、運転者が指導を受けた証として署名を確実に残している。 ・車両の整備に関して、自社内の有資格整備士により法定点検などが確実に実施され、その記録が管理されている。 ・ダンプカーに土砂積載の際、土砂ホッパーの下にダンプカーが入り、ホッパー下部から土砂を積み込み、その後、ダンプカーをトラックスケールに載せ、大型電光掲示板に表示された重量を運転者と油圧シヨベルのオペレーターが確認しながら土砂を調整して搬出している。
委員長	2020.02.19	鹿島建設・須山建設JV	東京都水道局 小平市天神町三丁目地内から同市小金井 南町三丁目地先間導水管 (2600mm)及び外1か所送水管 (2000mm)用立坑築造工事	<ul style="list-style-type: none"> ・全ダンプカーにドライブレコーダーとGPS管理システムを搭載し、運行管理に努め、そのデータを安全教育に活用するなど、運行経路の状況の変化に応じた安全対策を、随時運転者に周知しており、その記録も管理されている。 ・過積載防止対策として、土質の変化に応じた荷姿積み込みを運転者に周知し、自重計での管理の他、ポータブルトラックスケールでの全車の積載重量を管理している。 ・運行ルートの事前調査を行い、学校、病院、鉄道等の公共施設、商店街など子供や歩行者の交通量の多い箇所を特定し「交通ハザードマップ」として緊急連絡体制表と合わせ車両に備付け、交通事故防止に役立てている。 ・事業用、自家用を問わず全ダンプカーの運転者を対象に、出庫・帰庫時にアルコールチェックを実施し、その点検記録を元請職員も確認している。
委員長	2023.07.27	鹿島・竹中土木・佐藤工業 JV	東日本高速道路(株)関東支社 横浜環状南線 公田笠間トンネル工事	<ul style="list-style-type: none"> ・自社開発の車両運行管理システムを運用し、GPSにより把握した工事車両の位置情報とドライバー名や積荷に関する情報を現場事務所等で把握、渋滞緩和や運行中の安全性向上を実現している。 ・路上駐車や渋滞を発生させないよう国道脇の発注者管理用地を借地し、20台分のダンプ待機基地を設けているほか、場内にも70台分の待機場所が設けられている。 ・全てのダンプカー運転者に、出庫・帰庫時にアルコールチェックを実施し、元請職員もその点検記録を確認しているほか、現場にも検知器を設置し、適宜チェックを行っている。 ・過積載対策として、トラックスケールによる積載重量の管理を行っており、積載重量がバックホウの運転席及び誘導員の配置場所に表示され、オペレーター、ドライバー、誘導員の三者で視認できるようになっている。
委員長	2024.02.15	大成・鹿島・大林・京急JV	東京都建設局 環状七号線地下広域調節池(石神井川区 間)工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンプカー全車両の位置把握のため、ドライブレコーダーとGPS管理システムを搭載し、音声で運転手へ危険箇所の注意喚起を行うとともに、そのデータを安全教育に活用、運行経路の状況変化に応じた安全対策を実施している。 ・運搬車両の現場入場のタイミングに運行管理担当者を常駐させ、運搬車両と電話による連絡で現場付近での待機車両が無いよう管理されている。 ・運搬会社の事業主による安全運転教育の実施、運転前後のアルコールチェックの実施、車両管理台帳による検整備等の実施記録は非常にわかりやすく整備されている。 ・現場広報タッチパネルを設置し、施工体制台帳、現場ホームページ、施工状況、週間作業予定をデジタルサイネージで掲示し、近隣住民や一般通行者が誰でも工事の概要が簡単に理解できるように工夫している。
委員長	2024.02.15	清水・奥村・佐藤JV	阪神高速道路(株) 駒栄工区開削トンネル工事	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者との接触や交差点における交通事故のリスクを低減するため、土砂受入れ先まで高速道路を使用する運搬ルートを選定している。 ・場内のダンプカー等走行路について、全てアスファルト舗装を施し、埃の抑制及び一般道路の汚損防止を行っている。 ・360°カメラを使用し、日々監視記録を残し、Googleマップのストリートビューにより、所員がいつでも確認できる状態としている。 ・毎週1回10分程度、アドバイザーによる所員を対象としたスキルアップ講習を行っている。安全運転管理についても、日連運の資料を活用し、所員の情報共有を行っている。